

当初予算に対する討論

平成29年度当初予算について、予算特別委員会での審査後、3月30日の本会議で各会派及び無所属議員による討論が行われました。

ここでは、当初予算の主な討論内容についてお知らせします。

◇討論の詳細は会議録に掲載します。「会議録の公開予定」は10面をご覧ください。

無所属

納田 さおり

反対

虚実に満ちた市政にNO！を突きつける

丸山市政2期目初年度にして西東京市の崩壊のドアを一枚一枚開いていくような状況だ。職員が答弁に窮する場面でも市長は下をうつむき寝ているように見え、責任あるトップの姿勢とは思えない。田無庁舎市民広場での仮設庁舎建設は市民合意などほとんどないのに賛同を得ているとうその答弁を繰り返し、3館合築複合化を駅近の田無庁舎敷地内ではなく、あくまでも市民会館跡地で進めることは、将来、豊洲市場問題西東京市版になりかねない。さらに危機管理室は市長室に近接しなければならないのに保谷庁舎側から断固動かさない。政治予算をゴテゴテと積み上げる状況など全てが西東京市を崩壊させる内容であり反対だ！

自由民主党西東京市議団 酒井 ごう一郎

賛成

行財政改革を断行せよ！

厳しい財政状況の中にもかかわらず、健康応援都市の実現に向けた各種事業の充実や保育所整備、預かり保育への支援、また小中学校の建設や大規模改造、小中学校での特別支援教育への対応などの教育環境の充実、都市計画道路の整備着手や耐震性防火貯水槽の設置などの災害に強いまちづくり、下野谷遺跡をはじめとする地域資源の活用、産業振興の民設型SOHO整備のための制度創設や、女性の創業・起業支援のさらなる充実や地域産業の活性化に向けた取り組みなど、本予算は西東京市の重要課題に取り組む予算となっていることを評価し、平成29年度一般会計予算に賛成する。

日本共産党西東京市議団 藤岡 智明

反対

市民不在の庁舎統合予算は撤回見直せ！

①仮庁舎整備事業費計上は、議会と市民の多様な意見や声を全く無視して決定された庁舎統合方針に基づくもので、市民合意形成にふさわしく市民的議論を尽くした上でゼロベースで見直すこと。同じく3館合築基本プラン策定も白紙撤回し、抜本的見直しを行うこと。旧泉小跡地解体工事費計上については、地域住民への説明、意見聴取が極めて不十分であり、体育館の利活用も含めて市民参加を貫いて、見直し再検討を図ること。

②市民負担増とサービス低下を押しつける行革アクションプランの実施は、市民生活や子どもの貧困に追い打ちをかけている。国保料引き上げ、がん検診有料化は中止し、就学援助拡充に向けた改善対策を図れ。

民進党西東京

森 信一

賛成

市民が望む、緊張感ある予算執行を！

インフラ整備や教育予算等、待ったなしの事業が山積している中、さらなる集中と選択が求められる状況である。私ども民進党西東京は、福祉施策を中心に市民の安心・安全な生活を守るために市長へ20項目の提言を示した。特に、今後の地域主権社会を西東京市が目指す上で重要となる新たな市民参加の手法について引き続き研究すること。健康で健全な職場環境を整備するために、イクボス、ケアボス宣言を民間に先立ち29年度の早い時期に実施すること。特別養護老人ホーム及び認知症高齢者グループホーム等の整備は、西東京市民にとって優位となる小規模施設を増やすことなどを盛り込み、一般会計予算に賛成する。

統一会派みらい

山崎 英昭

反対

20万市民のための行政運営を！

小学校で一定の対応をしていたのに体罰が発生した。連携を密にし、子どもたちに影響がないよう最大限の配慮と取り組みを求める。私たちは3館合築と仮庁舎並びに旧泉小解体の白紙撤回を求め、組みかえ動議を提出した。質疑により検討経過を自発的に明らかにしない姿勢がわかり、驚きを通り越し憤りを覚える。また、行政組織の緩みと緊張感の欠如、コミュニケーション不足、その結果としてガバナンスの崩壊が明らかとなった。いま一度、行政は誰のために存在するのかという原点に立ち返り、市民や議会、職員の声に耳を傾け、一部の人や特定の勢力のためではなく、20万市民のためにしっかりと行政運営を行うことを求めて、本予算に反対する。

生活者ネットワーク

後藤 ゆう子

賛成

子どものための条例制定に期待する

評価する主な取り組みは、①次世代を担う全ての子どもたちが健やかに育つ環境を整えるための理念を共有する条例制定に向け検討を始めること。②多様な市民の参画で取り組んだ公園実態調査をもとに公園配置計画が策定されること。③新たに住宅課が設置され、空き家の未然防止と利活用の基礎データとなる空き家の全棟調査が行われること。④若者サミットなどの新しい市民参加や市民協働の取り組みの検討などである。一方で市民会館・中央図書館・田無公民館の3館合築に関して、最初に場所ありきではなく、それぞれの館を個別にあり方から議論し検討すべきであると指摘し、3館合築の計画は一旦白紙に戻すべきであると強く要望し賛成とする。

無所属

森 てるお

反対

市民合意なきハコモノ予算は撤回せよ！

予算審査の中で組織統治が崩壊していることが明らかになった。本予算に市長の統治が及んでいるのかさえ疑問だ。本予算には市民合意を得ていない経費が組み込まれている。庁舎統合暫定案のもとでの仮庁舎建設や保谷庁舎解体、市民理解なき旧泉小学校校舎解体は将来に禍根を残す。まだ使える建物は市民の貴重な財産だ。安易に壊すのではなく、まず転用を考えよ。市民が分別に協力した燃やせないごみの8割が柳泉園で燃やされている。事実を認めずうそを言う。市民との信頼関係を壊す。約束した処理を行え。焼却処理を15年間の長期にわたって民間委託するという。西東京市議会は承認していない。行政が持つ強権力によって物事を進めるな。

西東京市議会公明党

田代 伸之

賛成

市民のためのまちづくりを進めよ

本予算では、子育て、高齢者、障がい者（児）の福祉サービス事業、若者のまちづくりへの参画、教育環境の整備拡充、産業や文化振興、防災対策、道路事業や駅周辺のまちづくりなど、市民生活に直結する多くの事業が計上された。その中に、西東京市議会公明党の50項目の予算要望、また市民の声をもとに一貫して推進を申し上げてきた事業が多く反映されたことについて評価したい。一方で、今後は厳しい財政状況をかんがみ、事業効果の検証や行財政改革を着実に進め、選択と集中による自立可能な自治体経営に取り組むことが求められる。市民ニーズを的確に捉え、どこまでも市民のための市政運営を進めることを求め、本予算に賛成する。